

2017年度 公益社団法人鎌倉青年会議所 理事長報告

第53代理事長 大崎 厚郎

社会は人と人との繋がりで出来ていると考えます。最初は点である縁が線になり、それが大きくなって円になる。繋がりが太くなれば信頼関係が生まれる。鎌倉青年会議所は小さいながらも社会の縮図でありここで得られた成果がまちを変え、人を成長させると信じております。そこで2017年度はテーマ「絆をつなぐ」、スローガン「まちを想い、繋がりを広げよう」と掲げて、人と人、人と地域、地域と地域の繋がりを改めて構築する運動を押し進めて参りました。

まず、今村委員長率いるまちづくり委員会では5月に第49回慈善茶会を担当して頂きました。各部長を中心に全メンバーが一丸となってご来場されたお客様をおもてなすことで、まちづくり事業であると共に研修事業でもある慈善茶会を開催致しました。そして、10月には市内の小学生を招き、市内事業所様の御協力を得て職業体験を中心とした事業を行いました。どちらの例会でも多くの方々の御協力を頂く事で事業を作る事が出来ました。これにより茶道を通じたまちとの繋がり、将来の鎌倉を背負う子供達とまちとの繋がりを作り、鎌倉の未来の可能性を感じる事が出来ました。

次に、竹生田委員長率いる広報研修委員会では4月に会員の資質向上を目的とした体験型研修を行い、9月には例会としてブロック大会へ参加し当会議所内だけでは感じる事の出来ないスケールメリットを体感いたしました。そして、10月に行われた第48回衆議院選挙における公開討論会を一般社団法人横浜青年会議所、一般社団法人逗子葉山青年会議所と共催を致しました。また、6月、11月に事業として入会年度の浅いメンバーで構成されたルーキーズブートキャンプを中心にLOM内の結束力を高めると共に事業の作り方を体感し、大変な部分や辛さを仲間と克服し喜びに変える事で各事業、例会への参加意義を感じて頂きました。これによりLOM内での絆を強くすることが出来ました。更には、切れ目のない広報を行い当会議所の事業を多方面に発信してまいりました。

次に、中根委員長率いる拡大渉外委員会では2月の大嶋啓介氏による講演会の開催や年間を通じて市内各団体の集まりにも積極的に参加をする事で拡大対象者の掘り起こしを行い、12名の方にご入会を頂きました。6月には一般社団法人逗子葉山青年会議所、一般社団法人藤沢青年会議所の皆様と合同例会を行い、近隣LOMとの繋がりを太く致しました。更に、8月には現役会員の入会経緯を知り、11月には拡大の手法を学ぶことによって入会する方、拡大する側の双方の気持ちを知る事で今後の拡大活動の糧となったと考えます。また、11月には鎌倉商工会議所青年部との交流事業を担当して頂き同世代の仲間たちとも繋がりを持ちました。これにより、外部団体、新入会員と当会議所の絆をつなぐことが出来ました。

次に、津田委員長率いる総務委員会では1月の賀詞交歓会で関係諸団体との交流、3月のメモリアルデーでOBとの交流、7月の次年度理事長を祝う会で次年度体制との交流、12月の卒業生を送る会では卒業生との交流を行い、全ての例会で80%を超える高い出席率の中で開催する事で当会議所の歴史と未来との絆をつなぐ事が出来ました。また、10月には鎌倉市長選挙における公開討論会を開催し、市民と市政の絆をつなぎました。更には、次年度段階より各会議での設営並びに運営を厳粛に行う事で各事業の議論を尽くしてきました。これにより会員と当会議所の絆をつなぐ事になり、妥協なき議案作成をする事が出来ました。

本年度は会員全員が一丸となって活動をした年と考えております。いかに優れた事業が理事会で審議されようとも、いかに優れた委員長がいようとも議案から本当の事業へと形作るには委員会メンバーにどれだけ協力してもらえるかにかかっております。これを成すには日頃の委員会運営や関係性づくりが何よりも重要だと考えておりました。一人の力には限界がり、会員同士が仲間を信じ小さな力を結集する事で大きな力へと変換され2017年度の大きなうねりを創り出しました。隣人との関係性が作りにくい世の中だからこそ青年会議所が地域の為に、自己成長の為に感謝の気持ちを持って精一杯の活動をする時だと考えます。本年の運動がこのまちに間違いなく絆をつなぎ影響を与えたと確信しております。

最後になりますが本年、お世話になりましたメンバーの皆様・OBの皆様、また私と共に会の運営に携わってくださった、樋渡副理事長、日向副理事長、そして、ずっと横で支えて頂いた牧田専務に最大限の感謝を申し上げ2017年度の理事長報告とさせていただきます。

一年間、本当にありがとうございました。

副理事長報告

副理事長 日向 智則

本年は、拡大渉外委員会の担当副理事長として、充実した1年を過ごさせて頂きました。拡大渉外委員会においては、中根委員長・米澤副委員長と共に1年間を通じて活動致しました。2月例会「大島啓介氏講演会」で大きな花火を打ち上げ拡大のチャンスをひろげました。8月例会「仲間を増やすチャンスを逃すな！」では現役にて理事長を経験されている方々に当時の拡大の状況などを勉強させて頂きました。11月例会「拡大を振り返り、絆を拡大に繋げよう！」では、拡大委員長を経験されましたOB諸兄から、その時代の拡大活動や先輩の視線から見た会員拡大についてご指導・ご講演を頂きました。そして6月例会「3LOM合同例会」では真夏の雪合戦を行いました。近隣LOMとの合同で企画・立案し絆を繋げていくことが出来たと思っております。拡大渉外委員会として各例会を委員会メンバーと共に行う事で、本年度理事長が掲げます「絆をつなぐ」というテーマに沿った活動が出来たと確信しております。副理事長という貴重な経験をさせて頂きました大崎理事長、またそれを支えてくださった中根委員長・米澤委員長をはじめメンバーの皆様にご感謝を申し上げ副理事長報告とさせていただきます。

副理事長 樋渡 悠浩

本年は、まちづくり委員会並びに広報研修委員会の担当副理事長として、充実した一年を過ごさせて頂きました。まちづくり委員会においては、今村委員長を筆頭とする委員会と共に5月例会「第49回慈善茶会」の開催並びに10月例会「これに決めた！鎌倉の仕事！！」と題し、このまちを担っていく子供達の為の事業を行いました。また広報研修委員会においては竹生田委員長を筆頭とする委員会と共に年間を通しての、広報活動と共に4月例会「協創による強い組織づくり～イノベーション創出プログラムから学ぶ～」の開催並びに9月例会「第45回神奈川ブロック大会への参加」を行いました。また、同委員会にて、例会とは別に、アカデミー会員による研修事業として6月事業「松延氏と振り返る、鎌倉青年会議所」、11月事業「紅葉の森でBBQ～自然の中で仲良くなろう」を行いました。また、10月には衆議院の解散に伴う第48回衆議院議員総選挙神奈川県第4選挙区公開討論会を横浜青年会議所様、逗子葉山青年会議所様と共に開催をさせて頂きました。

まちづくり委員会として、5月10月、広報研修委員会として4月6月10月11月と多くの例会や事業を各委員会と共に行う中で、本年度テーマである「絆をつなぐ」を体現できた一年となったと確信しております。最後となりましたが、副理事長という貴重な経験を与えていただきました大崎理事長と、今村委員長、竹生田委員長をはじめとする委員会メンバーの皆様に感謝を申し上げ副理事長報告とさせて頂きます。

専務理事報告

専務理事 牧田 芳明

2017年度、大崎理事長の下、専務理事の役職を務めさせていただきました。大崎理事長を始めとした、多くの皆様のお力を貸して頂きながら、専務理事という非常に貴重な経験の出来る機会を頂いたことにまずは感謝を申し上げます。

1年間専務理事の役職に携わって解った事は、専務理事には大きく3つの仕事があるという事です。「鎌倉青年会議所の窓口」としての役割、「総務委員会の担当理事」としての役割、そして、「理事長の考えの一番の理解者」としての役割であります。この3つの面から鎌倉青年会議所を見ると、一つの大きな共通点を見る事が出来ました。それは本年度、理事、新入会員にかかわらず、一人ひとりが鎌倉青年会議所のメンバーである事を強く自覚して活動していた事です。これは各委員長が大崎理事長の掲げる「絆をつなぐ」をよく理解して、率先して活動を構築していった事が活気ある活動へとつながったのだと考えております。この様な活発な活動を、専務理事として対内から、そして対外から見ることが出来たことは、とても幸運なことだったと感じています。

最後になりますが、様々な面でご協力いただきました樋渡副理事長、日向副理事長、色々な面で御指導頂きました、渡邊直前理事長、川島監事、杉浦監事、私のもとで多くの案件を乗り越えてくれた津田委員長、そして私を最後まで信頼して頂きました大崎理事長に感謝を申し上げて、専務理事報告とさせていただきます。

1年間ありがとうございました。

2017年度 委員会事業報告

まちづくり委員会

広報研修委員会

拡大渉外委員会

総務委員会

まちづくり委員会

- 委員 長 名：今村 広太郎
- 副委員 長 名：松永 充広
- 委員 名：大森 啓田、斎藤 正朗、田中 健雄、藤田 憲一郎、竹村 眞、
江成 翔、片根 竜哉

1) 事業報告

(I) まちの人々の相互の理解から、互助の精神へと発展させる為の事業

- (a) 内 容：第49回慈善茶会の開催
- (b) 時 期：2017年 5月13日(土曜日)
- (c) 開 催 場 所：大仏殿高德院
- (d) 対 象：正会員 38名 OB 25名
来訪JC67名 お客様469名
茶道裏千家淡交会鎌倉支部 34名
茶道裏千家淡交会鎌倉青年部30名
鎌倉女子大学茶道部 23名 県立鎌倉高校茶道部10名
県立七里ガ浜高校茶道部12名 県立深沢高校茶道部8名
鎌倉ユネスコ協会 33名 こぼとナーサリー 20名
参拝客 約1000名

(II) 関係諸団体との信頼関係、絆を深める為の事業

- (a) 内 容：第49回慈善茶会後の懇親会の開催
- (b) 時 期：2017年 5月13日(土曜日)
- (c) 開 催 場 所：華正樓 鎌倉店
- (d) 対 象：正会員 29名 OB 8名
関係諸団体 9名 来賓 3名

(III) まちの未来を担う市民が繋がりから生まれる明るいまちを想像(創造)する為の事業

- (a) 内 容：10月例会「これに決めた!!鎌倉のしごと」～鎌倉の会社
・仕事体験～ の開催
- (b) 時 期：2017年 10月29日(日曜日)
- (c) 開 催 場 所：第一会場 鎌倉市立御成小学校体育館、
第二会場 市役所(市庁舎側)駐車場(当日荒天の為中止)
- (d) 対 象：正会員30名
来場者約520名(児童約260名 保護者約260名)

2) 委員会報告

本年度まちづくり委員会は、人と人の間に起因するまちの諸問題を解決に導き、明るい未来を感じる事の出来るまちを創出する為には、まちとの繋がりを強く感じつつ、人と人が相互に理解を深めて他者を思いやる事で互助の精神を育て絆を広げ、まちと人の繋がりも取り戻すきっかけとなる事業が必要であると考え、この一年間事業展開をして参りました。

まず、5月例会では、大仏殿高德院にて第49回慈善茶会を開催致しました。この事業は、当会議所設立5周年の時から連綿と受け継がれてきた歴史と伝統のある事業であり、その重みをメンバー一人ひとりが胸に刻み、多くの協働団体の皆様にご指導ご協力を賜りつつ開催されました。当日は生憎の天候ではありましたが、茶道裏千家千宗室御家元様をはじめ、大仏殿高德院佐藤孝雄御住職様による御献茶式を行い、その中で寄付先であるハッピーロードネット理事長の西本様にご挨拶を賜る事で、多くのお客様に本例会の主旨を発信することが出来ました。これまでの過程で、茶道という伝統文化を通じて修練を積み、他団体と連携強化を図りつつ、お客様に喜んでいただく一瞬のために、それぞれの持ち場を担えたことは、当例会テーマである「互助から繋がりへ、繋がりから互助へ」という、日常生活では味わうことのできない連鎖を生み、人と人、まちと人の「絆をつなぐ」一助になったと考えます。

5月例会と同日に第2部として開催された、慈善茶会後の懇親会は、華正樓鎌倉店におきまして、まちの中で活動される皆様との絆をつなぐ事を目的として開催させて頂きました。協働団体の皆様やご来賓の皆様と、これまでの互いの活動を労うことでより懇親を深めることができました。

10月例会は、このまちの未来を担う子どもたちに、生活の基盤である仕事を通じた、まちの魅力を伝える事で、将来このまちで働き、住み続けたいという気持ちを持ち続けて頂く事と、現在このまちで活躍されている大人たちとの交流を深める事で、人と人、まちと人の繋がりを強くして、その輪を大きくしていく事を目的として開催致しました。当例会を通じて、子どもたちが自ら未来を切り拓き、将来の姿を創造して行くための一助になったと確信しております。

結びとなりますが、次年度段階から御指導を賜りました、大崎理事長をはじめと致します、正副理事長の皆様、緻密な戦略の中に大胆さを兼ね備えた御指導を賜りました樋渡担当副理事長、そして部会に分かれての活動が目立った当委員会ではありましたが、最後まで支えて下さった松永副委員長と、一緒に活動して下さいました委員会メンバーの皆様、一年間ご協力を頂いた全ての方に深く御礼を申し上げ委員会報告とさせていただきます。

広報研修委員会

- 委員長 名：竹生田 修
- 副委員長 名：永田 磨梨奈、波多江 悠
- 委員 名：大西 広朗、野村 亮介、脇本 遼、柿崎 孝宏、御代川 太、岡田 卓

1) 事業報告

(I) 青年会議所活動の発信に関する事業の実施

- (a) 内容：鎌倉青年会議所活動の情報発信、ホームページ、フェイスブックの管理・運営
- (b) 時期：2017年 1月～12月

(II) 会員の資質向上を目的とした研修事業の開催

- (a) 内容：4月例会 「協創による強い組織づくり～イノベーション創出プログラムから学ぶ～」の開催
- (b) 時期：2017年 4月18日（火曜日）
- (c) 開催場所：鎌倉商工会議所会館 301会議室
- (d) 対象：正会員29名

(III) アカデミー会員が絆の大切さを学ぶ研修の実施

- (a) 内容：①6月事業 「松延氏と振り返る鎌倉青年会議所」の開催
②11月事業 「紅葉の森でBBQ～自然の中で仲良くなるう～」の開催
- (b) 時期：①2017年 6月13日（火曜日）
②2017年11月 5日（日曜日）
- (c) 開催場所：①レグリーズ鎌倉
②上郷森の家 バーベキュー場
- (d) 対象：①正会員33名
②正会員22名 家族並びに友人37名

(IV) 参加者が自立と共助を深める神奈川ブロック大会への参加

- (a) 内容：9月例会 第45回神奈川ブロック大会茅ヶ崎大会への参加
- (b) 時期：2017年 9月 9日（土曜日）
- (c) 開催場所：茅ヶ崎市総合体育館 茅ヶ崎市コミュニティホール
茅ヶ崎市中央公園 サザンビーチちがさき
- (d) 対象：正会員27名

2) 委員会報告

本年度の広報研修委員会では、当会議所の活動を広く地域に発信し、絆の大切さを広く地域に伝播していくために広報活動を行いました。またメンバーが研修を通じて成長し、絆創りの大切さを共有することが、鎌倉青年会議所の力にも繋がると考え一年間活動して参りました。

青年会議所活動の発信に関する事業として、鎌倉青年会議所の情報をホームページとフェイスブックでわかりやすく発信しました。そして地域の皆様に本年度の例会や事業について知って頂くことで、当会議所の活動に共感して頂けたと確信しております。またホームページの情報を充実させることで当会議所がどんな団体かそしてどんな人が活動しているのかを発信することが出来ました。

次に会員の資質向上を目的とした研修事業として4月例会を行いました。メンバーが地域の中で生じる課題の解決に取り組んでいく人材として成長することを目的として、川島勇我氏を講師にお迎えしてイノベーション創出をテーマに体験型研修を実施しました。目的を達成することや意見を出し合うことに対して、「楽しむという要素を加えることで、積極的・協力的に課題に取り組める」ということを体験し、課題解決能力の向上に加え、会員同士の絆をより強くし組織を強化することができたと確信しております。

アカデミー会員が絆の大切さを学ぶ研修事業として、6月事業「松延氏と振り返る鎌倉青年会議所」、11月事業「紅葉の森でBBQ～自然の中で仲良くなるろう～」を行いました。入会の浅いメンバーが、事業構築する大変さや仲間と一緒に事業を作り上げる楽しさを知ることで絆を深くすることが出来たと考えます。6月事業では松延氏にメンバーから感謝を伝えることが出来ました。11月事業ではメンバーの家族や友人と共に楽しい時間を過ごすことが出来ました。入会の浅いメンバーがこの経験を活かして今後のJC活動をしていって頂きたいと考えます。

9月例会として「第45回神奈川ブロック大会茅ヶ崎大会への参加」を行いました。多くのメンバーに参加してもらえるように事前に会場を下見した映像をまとめた「茅ヶ崎散歩」とブロック協議会の出向者のブロック大会に対する生の声を集めた動画をメンバーに配信したことで動員に繋がったと思っております。参加したメンバーが、ブロック大会で気づいたことや経験したことを仲間に伝えて頂き今後の当会議所の活動に活かして頂ければと思います。今後もこの例会を行うことでブロック協議会に興味を持ち、出向して活躍したいと思うメンバーが増えることを期待しております。

当委員会はメンバー一同、一年間通じて広報活動を行い、当会議所の運動を地域の皆様に広く伝播し共感して頂くことが出来ました。そして志を同じくする仲間と共に事業を作り上げる過程の中で人と人との絆の大切さを体得することは、当会議所が将来にわたって成長していく原動力となったと確信致します。

最後になりますが、一年間通じて様々な経験をさせて頂き感謝申し上げます。貴重なご意見を頂き、長時間お付き合いいただいた会員の皆様、そしてご協力、ご参加いただいたすべての皆様に厚く御礼申し上げます。広報研修委員会報告といたします。

一年間、本当にありがとうございました。

拡大渉外委員会

- 委員長 名：中根 重義
- 副委員長 名：米澤 寿人
- 委員 名：黒木 伸太郎、潮見 雅利、長野 トーマスマコト、根本 紗央里、
メタ バラッツ、磯野 享史、西崎 肇、二井 久美代

1) 事業報告

(I) 絆が織りなす拡大大作戦

- (a) 内容：会員拡大、青年会議所の基本概要の説明、新会員の育成、会員の資質向上
- (b) 時期：2016年 1月～12月
- (c) 開催場所：鎌倉市内及び近隣各所
- (d) 対象：新入会員12名

(II) 会員拡大活動のためのアピール大作戦

- (a) 内容：2月例会『大嶋啓介氏講演会』～元気が生み出す、強く明るい組織！～の開催
- (b) 時期：2017年 2月 7日（火曜日）
- (c) 開催場所：第一部：鎌倉生涯学習センターホール
第二部：レグリーズ鎌倉
- (d) 対象：正会員 27名 OB 11名
来訪JC 11名 一般参加者 110名

(III) 3LOMで発想を大きくの開催

- (a) 内容：6月例会3LOM合同例会「初夏の雪合戦大会」の開催
- (b) 時期：2017年 6月29日（木曜日）
- (c) 開催場所：ミズノフットサルプラザ藤沢
- (d) 対象：公益社団法人 鎌倉青年会議所 29名
一般社団法人 逗子葉山青年会議所 9名
一般社団法人 藤沢青年会議所 28名 ゲスト2名

(IV) 会員拡大活動のためのOne For All、All For One

- (a) 内容：①8月例会「仲間を増やすチャンス逃すな！」の開催
②11月例会「拡大を振り返り、絆を拡大に繋げよう！」の開催
- (b) 時期：①2017年 8月22日（木曜日）
②2017年11月14日（木曜日）
- (c) 開催場所：①鎌倉商工会議所会館 301会議室
②鎌倉商工会議所会館 301会議室

(d) 対 象：①正会員30名 ゲスト1名
②正会員29名

2) 委員会報告

本年度の拡大渉外委員会では、「明るい豊かな社会の実現」に向け、英知と勇気と情熱を持ったメンバーで組織された鎌倉青年会議所が運動の推進力を高めることは、まちへの発信力を力強いものとし、力強い運動を展開していくためには、運動の推進力の基盤たるメンバーの拡大が必要であると考え一年間活動して参りました。

本年度は12名の会員拡大を行うと共に、そのメンバーに青年会議所活動の意義をしっかりと共有する拡大活動を行うことで、例会をはじめとする各種事業への積極的な参画を促し質と量とを兼ね備えた拡大活動を展開して参りました。

2月例会では、大嶋啓介氏を講師に招き、生涯学習センターを会場とした公開例会を行うことで地域の皆様に鎌倉青年会議所活動を力強く発信し、認知度を高めていただくと共に、拡大に繋げる機会として事業を開催しました。恒例の6月例会3LOM合同例会では、日頃LOM内で完結してしまう発想を抜け、鎌倉にとどまらない仲間と絆を繋ぎ、多くの気付きを得る機会となりました。8月、11月の両例会では、高い意識でメンバー全員で拡大活動を継続すべく、近年入会メンバーの視点や過去の拡大委員長経験者の視点から、改めて拡大活動を学ぶ機会を設営し、継続事業である拡大意識の醸成を行いました。

年間の事業を通して、青年会議所活動の基盤である拡大は、あらゆるところにチャンスがあり、全メンバーが一丸となり高い意識をもって活動していくことこそが、成功のカギであると確信すると共に、一人一人が「明るい豊かな社会の実現」を担う青年会議所活動に誇りをもって行動することこそが拡大につながると確信いたしました。

結びとなりますが、ご指導ご鞭撻を頂きました大崎理事長をはじめとする正副理事長の皆様、大局をしっかりと見極め細やかなご指導ご配慮を頂きました担当の日向副理事長、闊達な議論を共に重ねた理事会構成メンバーの皆様、積極的な参加のもとさまざまな視点からアイデア・考え方をご教授頂き共に事業を築き上げた委員会メンバーの皆様、そして鎌倉青年会議所すべてのメンバーの皆様と一年間の活動にご協力いただきました方々に深く感謝申し上げ委員会報告とさせていただきます。

1年間本当にありがとうございました。

総務委員会

- 委員長名：津田 康有
- 副委員長名：魚住 智哉
- 委員名：坂本 創志、橋本 航季、二見 宏史、松原 洋平、宮沢 輝、
村山 大輔、山上 亮、奥西 希生

1) 事業報告

(I) 会議の開催及び青年会議所運営全般

- (a) 内容：総会並びに理事会の開催、鎌倉青年会議所の運営
- (b) 時期：2017年 1月～12月
- (c) 開催場所：鎌倉商工会議所202会議室他

(II) 交流会の開催

- (a) 内容：①新年式典・賀詞交歓会の開催
②メモリアルデーの開催
③次年度理事長を祝う会の開催
④「年末式典・卒業式」・「卒業生を送る会」の開催
- (b) 時期：①2017年 1月17日（火曜日）
②2017年 3月13日（日曜日）
③2017年 7月18日（火曜日）
④2017年12月12日（火曜日）
- (c) 開催場所：①鎌倉パークホテル 海星の間 翠雲の間
②萬屋 本店
③チャイニーズダイニング 千馬
④華正楼 鎌倉店
- (d) 対象：①正会員28名 OB53名 入会希望者5名
来賓 27名 来訪JC49名
②正会員33名 OB29名
③正会員35名 OB30名 ゲスト 1名
④正会員40名 OB25名 ゲスト 2名

(III) 渉外に関する事業

- (a) 内容：①(公社)日本青年会議所の事業への参加
②関東地区協議会の事業への参加
③神奈川ブロック協議会の事業への参加
④出向者支援
⑤関係諸団体の事業への参加
- (b) 時期：2017年 1月～12月

- (c) 開催場所：①埼玉県さいたま市他
②千葉県成田市他
③神奈川県内及び近隣地域
④鎌倉市内及び近隣地域

- (d) 対象：①正会員 2名
②正会員 6名
③正会員18名

(IV) 市民の皆様と繋がりを太くする事業

- (a) 内容：鎌倉市長選公開討論会の開催
(b) 時期：2017年10月12日（木曜日）
(c) 開催場所：鎌倉市生涯学習センター きらら鎌倉
(d) 対象：正会員28名 来場市民212名

2) 委員会報告

本年度、総務委員会は鎌倉青年会議所が明るい豊かな社会の実現を目指して活動していくため、積極的に会の運営と各委員会の事業に関わり、メンバー一人ひとりの個の力を同じ目的のもとに結集し運動を盛り上げ活動してまいりました。

会議の開催及び青年会議所運営全般においては、定款と公益法人の基準に則り厳格な運営を行うとともに、会員の意思統一を行い、組織力の強化と事業の意義・魅力を一層高める事に繋げることができました。また、当委員会主幹のもと対外的な事業として鎌倉市長選挙公開討論会を開催したことは、まちづくりの一助となったと確信しております。

交流会の開催においては、メンバーとOB諸氏、関係諸団体との皆さまに対して、私たちの活動がこれまでの歴史と伝統のもとに成り立ち、また多くの方々のご支援のもとで開催していることへの敬意・感謝と、当会議所の2017年度の方向性をお伝えすることにより、絆を深め、より強い繋がりを再認識することができました。

渉外に関する事業においては、日本青年会議所、関東地区協議会、神奈川ブロック協議会並びにその他の関係諸団体の事業の意義を伝え参加者を募るとともに、交通、宿泊、現地における飲食等の設営を担当いたしました。また、各団体の事業への参加は会員にとって学びと気付きを得ることができた極めて有益な機会となったうえ、出向者支援への一助にも繋がったと考えます。

当委員会の取り組みにより、メンバー全員が同じ方向を向いて意識を高めて活動したことは、組織をより一層強固にするとともに運動を盛り上げ、2017年度当会議所が力強く運動を推し進めていく原動力の一助となったと確信いたします。最後になりますが、本事業にご参加ご協力をいただきました全ての皆様に深く感謝を申し上げ、事業報告とさせていただきます。一年間、ありがとうございました。